

8月の大雨に係る被害状況等について

昨日行われた「災害支援プラットフォーム第3回緊急対策会議」の内容を踏まえ、本日16:00時点で把握した現地状況ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

情報共有会議の開催を受け、JVOADでは、現地のコーディネーター役として、情報共有会議を運営している「佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）」のサポートを行っています。

- ・9月2日開催の「佐賀災害支援プラットフォーム第4回緊急対策会議」に45名程度が参加
被害状況、活動状況を共有
当面の間、毎日、同時刻、場所で開催予定 *会議室は変更になる可能性があるため現地で要確認
- ・大町町にて、上限1万円でタクシーチケットの支援をしている団体がある（9月末までを予定）
- ・災害看護支援の団体も活動、後方支援として健康被害予防、関連死予防、ストレスケアなどの対応を行っている
- ・複数の大学で学生ボランティアの活動を検討
- ・佐賀市では、土砂による道路不通のため、被害状況の確認が取れていない地区がある

○災害ボランティアセンター

福岡県内の災害ボランティアセンターは閉所、通常ボランティアセンターとして、相談窓口を開設

佐賀県では、5か所の市町で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティア活動を行っています。

開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報を確認ください。

URL：<https://www.saigaivc.com/>



【写真提供 災害NGO：武雄市】

○その他

- ・佐賀県内の避難者は下記の通り（9月3日7:00現在）
武雄市 69名、避難所2か所
大町町 231名、避難所3か所（合計300名）
- ・本日、9月3日（火）19:00～ SPF主催の
「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」が開催
場所：佐賀商工ビル内会議室

○今後について

引き続き、県、社会福祉協議会、SPFと連携して、「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」をサポートしていきます。